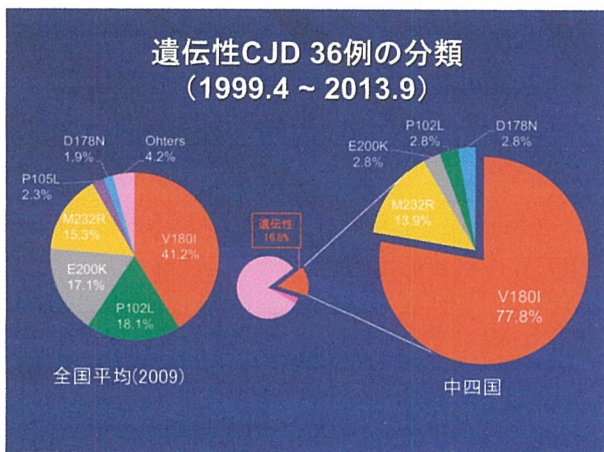
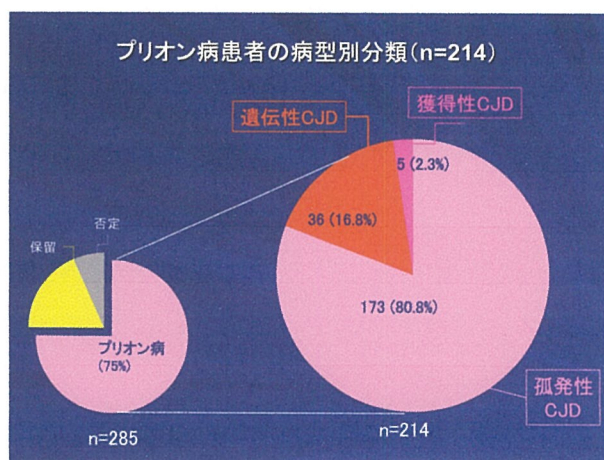
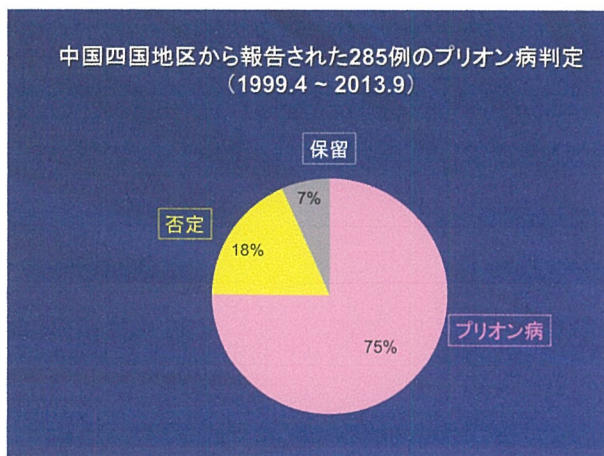


中国四国地区におけるプリオン病サーベイランス

研究分担者：（岡山大学大学院医歯薬学総合研究科脳神経内科学）阿部 康二



解説

- 1999年4月から2013年9月までの期間で、プリオン病サーベイランスによって中四国地域でプリオン病と判定されたのは全体の75%、214例であった。
- プリオン病と判定された214例のうち孤発性は173例、遺伝性は36例、獲得性は5例であった。
- 遺伝性CJDの36例では V180I の頻度が3/4を占め、全国調査との乖離が見られた。